

学校だより

くすのき

4月号



ホームページはこちらから→

令和 6年 4月 8日
横浜市立本牧南小学校



校歌・学区に想いを寄せて

校長 中村 宏

着任して1年が経ち、ようやく歌詞を見ずに校歌を歌えるようになりました。本校の校歌は、星野哲郎さんが作詞をされています。『三百六十五歩のマーチ』や『男はつらいよ』など、数多くの名曲を作詞された有名な方です。私は、校歌の歌詞とメロディが大好きです。聴いているだけで不思議と気持ちが穏やかになります。

本牧南小学校 校歌♪

ここには昔海があり 白い鷗がとんでいた
いまその海にわたしらの 心に青くよみがえり
希望をのせた船がでる 本牧南小学校

本牧鼻の丘の上に そびえてのこる老松の
みどりの彩のそのように かわらぬ努力積み重ね
明日への旅にそなえよう 本牧南小学校



学区である本牧市民公園の埋立記念碑（左の写真）には、今から半世紀以上も前、本牧の漁師たちが断腸の思いの中で、子孫の繁栄のためにと本牧地先の埋め立てに合意したことが記されています。現在、本牧地先は日本を代表する工業地帯として、またエネルギーや物流の拠点として、あらゆる方面から私たちの生活基盤を支えています。

今年度あらためて、学校のルーツや未来を担う子どもたちへの思いが詰まった校歌の歌詞を読み直し、そして埋立記念碑や横浜市の中で一番広いと言われている学区の地図を見ながら、保護者や地域の皆様方の本牧南小学校に対する期待と願いに想いを馳せました。

児童にとってのふるさとは、この本牧の地です。ふるさと本牧の明るい未来の実現に向けて、本牧南小学校に託した先人たちの熱い思いを、このすてきな校歌、昔海であった場所に建てられた美しい校舎とともに、これからも児童に受け継いでいきたいと思ひます。

令和6年度、新1年生30名を加えた本牧南小学校248名（4月8日現在）の『希望をのせた船』は、本日、大海原に向けて出港いたしました。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

～明日への旅に そなえよう 本牧南小学校♪～